



# 笹小だより 6月号

令和8年 5月29日  
横浜市立笹野台小学校



## 挑戦する気持ちを大切に

副校長 宮村 俊

新しい学年が始まり、子どもたちは毎日とても素直に、そして一生懸命に学習や活動に取り組んでいます。教室をのぞくと、友達と協力しながら考える姿や、自分の目標に向かって粘り強くがんばる姿がたくさん見られます。特にあいさつでは、相手の目を見て気持ちよくあいさつをしたり、自分から進んで声をかけたりする姿が多く見られ、とても温かな気持ちになります。立ち止まって丁寧にあいさつをする姿からは、相手を大切にしようとする思いが感じられ、とても嬉しい気持ちになります。

さて、先日の朝会では、私自身が最近「はまっていること(野球観戦)」や、「挑戦していること(健康に気を付けるためにウォーキングをしていること)」について話をしました。朝会では、実際に応援している様子をユニフォーム姿で紹介したり、ウォーキングについてはクイズ形式で出題したりしました。テレビ朝会でしたが、各教室で楽しみながら聞いてくれたようです。



新しいことに挑戦すると、思うようにいかなかったり、失敗したりすることもあります。しかし、その経験が次への力となり、自分自身を成長させてくれると思います。大切なのは、「できるかどうか」だけでなく、「まずやってみよう」とする気持ちです。失敗を恐れずに挑戦することで、「できた喜び」や「努力することの大切さ」、そして「続けることの意味」を感じながら、一歩ずつ成長して行ってほしいと願っています。

地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に多くのご協力をいただいております。学習活動で積極的に関わってくださったり、登下校の安全パトロールで子どもたちを温かく見守ってくださったりと、たくさんの支えをいただいています。子どもたちは、地域や保護者の皆様との関わりの中で、多くのことを学びながら成長しています。温かな声かけや見守りが、子どもたちの安心や意欲につながっています。きっと皆様の支えを受け、挑戦する気持ちも高まると思います。今後も、学校教育目標『自ら学び 人と関わり ともに高め合う 笹野台の子ども』の実現に向けて、子どもたちが安心して学校生活を送り、自分らしく力を発揮できるよう取り組んでまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。